

## 第25回化学工学会九州支部学生賞審査会 報告

令和2年8月31日に第25回化学工学会九州支部学生賞審査会がオンラインにて行われました。本学生賞は、学生自身の能力を審査する観点から、研究の理解度やプレゼンテーション能力を特に重視して毎年審査が行われている支部企画です。本年は博士課程5名、修士課程8名が審査会において研究発表を行い、8名の審査委員によって厳正に審査が行われました。その結果、受賞者は下記の通り、博士課程の部は2名、修士課程の部は3名の方に決定しました。発表した学生諸君の研究への理解、発表能力も高いレベルのものが多く、今後のさらなる活躍が期待される審査会となりました。長時間にわたり教育的見地に立ち、厳正なる審査を担当して頂いた審査委員の皆様、心より感謝申し上げます。

### 【博士課程の部】

花田隆文 (九州大学)

「深共晶溶媒による協同抽出系の構築とリチウム分離への応用」

北野裕之 (九州大学)

「バイオ人工肝臓への利用を目指したヒトヘパトーマ細胞の開発」

### 【修士課程の部】

小菌花果 (北九州市立大学)

「酸素透過性マイクロウェルチップを用いた細胞特性評価」

弘胤智美 (九州大学)

「機械学習による RBS 改変株の細胞増殖制御」

土田悠斗 (九州工業大学)

「誘電体粒子充填バリア放電により窒素活性化を行う  
相界面反応のアンモニア生成選択効果」

審査員氏名 (敬称略、順不同)

春山哲也、中澤浩二、武井孝行、瀬戸弘一、川喜田英孝、河邊佳典、佐々木満、井上元

(九州支部庶務幹事 井上元)